

理事会 会議資料

(令和2年度第4回)

令和3年3月29日(月)

社会福祉
法 人 神栖市社会福祉協議会

令和2年度 第4回 神栖市社会福祉協議会理事会次第

日 時:令和3年3月29日(月)

午前10時00分～

場 所:神栖市保健・福社会館

1. 会議適正審査報告

2. あ い さ つ

3. 議 長 選 出

4. 議 事

報告第1号 令和2年度(4～1月)事業実施状況及び予算執行状況について

議案第1号 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について

議案第2号 令和2年度社会福祉事業区分補正予算(案)について

議案第3号 社協の保険「役員等賠償補償」への継続加入について

議案第4号 令和3年度 神栖市社会福祉協議会事業計画(案)について

議案第5号 令和3年度 社会福祉事業区分 収支予算(案)について

議案第6号 令和3年度 公益事業区分 収支予算(案)について

議案第7号 令和2年度第3回評議員会の招集について

5. 閉 会

報告第1号

令和2年度（4～1月）事業実施状況及び予算執行状況について

<提案理由>

令和2年4月から令和3年1月までの10ヶ月間に実施した各種事業の結果、法人運営の状況、及び収支決算の状況について報告いたします。この報告は、定款第20条第5項に規定する、会長及び常務理事（業務執行理事）の職務状況報告として行うものです。

本案については、第3回理事会（令和3年1月。みなし決議）で、11月末までの実績として報告をさせていただいておりますが、社会福祉法第45条の14第9項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第98条第2項の規定により、報告の省略はできず、実際に開催された理事会において報告を行う必要がありますので、本理事会において、12月、1月分の実績を追加し、再提案を行うものです。

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

事業実施状況報告（令和2年4月～令和3年1月）

前回の理事会で報告した令和2年11月までの実績に12月、1月分の実績を追加しました。

・総合相談体制の充実強化

1. 相談援助機能の充実強化

(1) 組織による相談援助の強化（総合相談。相談対応件数）（自主事業）

() 日常生活圏域別相談件数

日常生活圏域別実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
相談 件 数	第 圏域	502	744	964	752	842	1,012	813	864	859	707	8,059	3,035
	第 圏域	254	459	580	525	547	720	511	691	604	349	5,240	1,406
	第 圏域	197	224	340	312	269	420	419	310	382	275	3,148	1,985
	上記以外	44	43	62	32	24	33	14	22	17	33	324	235
計		997	1,470	1,946	1,621	1,682	2,185	1,757	1,887	1,862	1,364	16,771	6,661
(前年度)		615	647	576	656	671	807	759	640	622	668	6,661	

() 相談内容別件数

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
1 緊急生活支援	30	31	23	37	37	46	30	41	27	36	338	275
2 生活福祉資金	466	821	948	794	879	1,164	997	1,093	1,091	516	8,769	203
3 行旅人支援	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	5
4 低額診療	1	3	1	1	1	4	11	3	5	0	30	40
5 自立相談支援	123	319	442	376	388	530	287	325	332	292	3,414	347
6 生活相談(他)	9	1	12	9	1	5	2	3	0	3	45	65
7 日常生活自立支援	84	75	116	75	64	70	94	87	114	118	897	745
8 成年後見	35	51	72	55	58	55	44	33	34	36	473	379
9 障害相談	126	53	122	101	80	94	124	106	93	133	1,032	1,378
10 こころの相談	7	7	15	9	8	9	5	6	12	14	92	130
11 発達相談	3	21	27	24	22	26	25	29	25	22	224	203
12 ひきこもり	5	1	11	8	3	5	4	8	12	24	81	65
13 高齢者	2	3	11	7	4	5	1	2	2	0	37	559
14 貸出事業	0	1	0	0	0	0	1	4	1	3	10	36
15 福祉教育	1	3	2	1	2	5	4	4	5	3	30	161
16 ボランティア	10	17	25	29	22	24	18	23	28	40	236	420
17 ファミリーサポート	51	23	55	54	74	86	70	75	61	63	612	1,139
18 ういらかみす	26	10	55	38	37	28	36	39	19	26	314	391
19 苦情	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	2
20 その他	18	30	4	2	2	29	4	6	0	35	130	118
計	997	1,470	1,946	1,621	1,682	2,185	1,757	1,887	1,862	1,364	16,771	6,661
(前年度)	615	647	576	656	671	807	759	640	622	668	6,661	

(2) 課題発見機能の充実（地区民生委員との連携）（自主事業）

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
民協定例会へ参加	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4回
同行訪問、情報共有	4	6	2	6	6	7	8	5	6	8	58
(前年度)	16	15	8	12	6	6	9	17	7	15	111

(3) 他機関の相談窓口とのネットワークづくり（自主活動）

- ・市困りごと相談担当者との打ち合わせ（他機関相談窓口との連絡会づくりなどを提言。5月）
- ・成年後見制度利用促進計画意見交換会（市長寿介護課、障がい福祉課と協議。10月）

2. コミュニティソーシャルワークの充実強化

(1) 課題解決へのネットワークづくり (自主事業)

前年度：前年4月～1月

会議の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
ケース会議(社協主催)	1					1	3				5	5
ケース会議(他機関主催)				1	3				1	1	6	3
連携会議(他機関主催)		1	1				1	3	2		8	12
計	1	1	1	1	3	1	4	3	3	1	19	20
(前年度)	4	3	2	5	0	1	1	3	0	1	20	

(2) 生活課題解決に対する組織化・事業化 (自主事業)

開催日	内 容	参加者
7月30日	第265回地域ネットワーク勉強会 「高次脳機能障害を抱える方への支援～事例を通して症状と関わり方を学ぼう～」	29名

4～6月の地域ネットワーク勉強会は中止。8月以降も開催を見合わせています。

3. 職員派遣を通じた福祉相談窓口のネットワーク強化(自主事業)

- (1) 精神保健福祉士・社会福祉士の派遣(神栖市社会福祉課) 1名派遣
- (2) 生活支援コーディネーターの派遣(神栖市長寿介護課) 1名派遣
- (3) 精神保健福祉士・社会福祉士の派遣(神栖市障がい福祉課) 1名派遣
- (4) 家庭児童相談専門員の派遣(神栖市子ども福祉課) 1名派遣

令和3年度以降の派遣職員数について

新型コロナウイルス関連で急増する生活相談及び貸付事業への対応と、現在神栖市から受託している「生活困窮者自立支援事業」の規模拡大(就労準備支援事業・家計相談支援事業の追加)に応じられる事務局体制を整えるため、神栖市への派遣人数を減員(4名から2名へ)したい旨の要望書を、令和2年9月23日付で神栖市福祉事務所長へ提出しました。

その後、現派遣先の各課を交え協議・調整を重ねるとともに市健康福祉部内で検討がされ、神栖市福祉事務所長からの令和2年10月23日付回答書により、令和3年度から市への派遣職員数を2名とし、現派遣先のうち長寿介護課、障がい福祉課への派遣を今年度で終了することが合意されました。

. 必要とされる各領域の権利擁護・生活支援システムづくり

1. 精神障害者、発達障害児者、ひきこもりの方等への支援活動

(1) 精神障害者の地域生活支援の充実

() 精神保健相談「こころの相談室」(再掲。平成20年度自主事業開始)

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
窓 口	1	1	6	3	4	3	2	4	5	3	32	50
電 話	6	6	9	5	4	6	3	2	7	11	59	65
訪 問	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	15
計	7	7	15	9	8	9	5	6	12	14	92	130
(前年度)	19	8	25	17	13	20	9	8	4	7	130	

(ii) 精神保健デイケア事業 (平成16年度自主事業開始、平成17年度神栖市より一部受託。受託金額3,200,000円)

・神栖地区「青空」(毎週水曜日・木曜日・金曜日)

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
開催回数	0	0	12	13	12	13	14	12	12	6	94	127
延べ利用人数	0	0	65	70	57	69	73	51	57	18	460	791

※令和2年4月1日から5月29日まで新型コロナウイルス感染症の影響により休止しました。

令和3年1月20日から2月7日までは茨城県の緊急事態宣言発令により休止しました。

・波崎地区「ほのぼの」(毎週火曜日)

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
開催回数	0	0	4	4	4	4	4	3	4	2	29	43
延べ利用人数	0	0	1	2	4	9	8	5	7	5	41	65

※令和2年4月1日から5月29日まで新型コロナウイルス感染症の影響により休止しました。

令和3年1月20日から2月7日までは茨城県の緊急事態宣言発令により休止しました。

(2) 発達障害児者等支援の充実

(i) 発達障害児療育者ステップアップ研修(仮。自主事業)

・発達障害児療育者研修(平成17～21, 25, 26, 28, 令和元年度に実施)の修了生を対象とした研修を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため今年度の開催は中止としました。

(ii) 会議・研修会

・市教育委員会主催 神栖市特別支援教育連携協議会に出席(6月)

・茨城県発達障害者支援センターあい主催 令和2年度発達障害支援セミナーに参加(1月。オンライン)

(iii) ことばと発達の相談室(平成元年度自主事業開始)

相談事業の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
相談件数	0	0	16	16	15	17	16	16	17	6	119	142
(前年度)	14	15	14	14	21	10	12	15	14	13	142	

※相談室は言語聴覚士へ委託して実施(4、5月、令和3年1月22日から2月7日まで休止)しています。

(iv) 知的障害への理解を深める活動の展開(自主活動)

・鹿島特別支援学校PTA及び卒業生保護者の交流会「ふたばの会」活動支援

(3) ひきこもり家族支援の充実、支援ネットワークの構築

(再掲。令和元年度自主事業開始)

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
窓口	2	0	1	1	0	1	0	1	3	11	20	8
電話	3	1	6	4	2	2	3	6	7	11	45	40
訪問(休止中)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7
家族相談(月2回)	0	0	4	3	1	2	1	1	2	1	15	10
計	5	1	11	8	3	5	4	8	12	24	81	65
(前年度)	6	9	9	8	6	5	8	4	1	9	65	

※家族相談は心理療法士から助言を受け実施(4、5月は中止)しています。

(4) 地域生活支援センター「障害者相談支援(専門相談)」の運営

(i) 神栖市障害者相談支援事業の運営 (平成18年度神栖市受託事業。受託金額6,000,000円)

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
相談件数(身体障害)	53	8	34	41	30	29	50	45	37	42	369	386
相談件数(知的障害)	25	6	32	16	22	32	20	20	15	23	211	262
相談件数(精神障害)	48	39	56	44	27	30	53	40	41	68	446	715
相談件数(その他)	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0	6	15
障害支援区分認定調査	0	0	6	5	6	5	6	6	4	6	44	47

(ii) 障害者総合支援法 指定特定相談支援(計画作成)事業所の運営

(平成26年度自主事業開始。年間収入予算1,932,000円)

実施件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
サービス計画作成	12	4	0	2	2	2	7	6	0	4	39	41
モニタリング実施	10	0	4	4	7	19	10	0	6	2	62	68
計	22	4	4	6	9	21	17	6	6	6	101	109
前年度	22	4	5	7	12	23	19	5	5	7	109	

(5) 各種福祉サービス

※前年度：前年4月～1月

貸出用備品・資産	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
車いすの貸出	2	4	4	3	3	11	8	19	13	4	71	113
福祉車両レンタカー料助成	2	1	1	3	16	2	1	1	13	0	40	56

2. 権利擁護関連活動の充実(福祉後見サポートセンターかみすの運営)

(1) 福祉後見サポートセンターかみす活動の充実 (平成28年度自主事業開始、神栖市より法人後見支援業務

の一部受託。受託金額376,852円)

・事業受任状況 1月末現在7名受任中(後見6名、保佐1名)

・相談対応、後見人業務

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
新規相談件数	1	1	1	6	4	1	1	0	0	2	17	26
受任活動件数	34	50	71	49	54	54	39	28	34	33	446	310
専門員活動件数	35	51	72	55	58	55	44	33	34	34	471	379
ケアカンファレンス	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	6	11

(2) 日常生活自立支援事業の運営

(平成13年度茨城県社協受託事業。受託金額2,197,000円)

・事業契約状況 1月末現在契約者30名

・相談対応、自立支援専門員業務

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
相談件数	2	3	2	3	1	2	2	5	2	3	25	20
生活支援員活動件数	1	0	9	12	12	18	19	21	19	17	128	121
専門員活動件数	83	75	107	63	52	52	75	66	95	101	769	624
ケアカンファレンス	0	0	1	0	1	1	1	1	3	3	11	21

3. 生活困窮者への支援活動

(1) 施策の活用による生活困窮世帯への支援

※前年度：前年度年間件数

支援の種類		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
生活福祉資金貸付	福祉費・修学資金		1					1		1	1	4	1
	総合支援資金	1										1	0
	総合支援資金(特例)		100	164	164	126	118	93	52	52	58	927	0
	総合支援資金(特延)					60	240	31	97	117	5	550	0
	緊急小口資金											0	4
	緊急小口資金(特例)	86	177	172	133	117	107	78	42	52	42	1,006	5
	不動産担保貸付										1	1	0
低額診療制度の申請		1					1	1				3	8
行旅人支援					1					1		2	2
緊急生活支援事業の実施		9	11	2	12	12	11	11	7	7	7	89	74

※生活福祉資金貸付は、貸付申請にかかる事務を茨城県社協から受託（受託金予算 8,168,000円）。低額診療制度は自主活動、行旅人支援及び緊急生活支援事業は自主事業です。

※(特例)：新型コロナウイルス感染症の影響により減収した世帯を対象とした「緊急小口資金(特例)」、「総合支援資金(特例)」です。受付期間は当初の「7月末まで」から9月末まで延長され、その後12月末まで延長、さらに3年3月末まで延長することが決定（令和2年12月8日付厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長事務連絡）しました。（現時点では6月末まで延長される見込みとなっています。）
加えて、令和3年2月19日から新たに「総合支援資金(再貸付)」の受付が始まっています。

※(特延)：総合支援資金(特例)の貸付期間延長(最長3ヶ月)にかかる申請

(2) 生活困窮者自立支援事業の運営（平成29年度神栖市受託事業。受託金額15,711,000円）

※前年度：前年4月～1月

相談事業の種類		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
相談件数(新規)		51	168	261	190	175	150	92	77	72	78	1,314	93
プラン内訳	住居確保給付金(※)	10	22	7	16	14	9	12	7	3	8	108	4
	住居確保給付(延長)			7	12	5	15	10	7	10	5	71	—
	住居確保給付(再延)						5	14	4	10	9	42	—
	住居確保給付(再々延)										12	12	—
	就労支援	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	13	5
	生活福祉資金貸付	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
支援活動件数		123	319	442	376	388	530	286	325	332	292	3,413	347

※ 住居を喪失した方又は喪失する恐れのある方を対象に家賃相当分の給付金を支給する「住居確保給付金」は、新型コロナウイルスの影響により受給要件が緩和されたこと、延長及び再延長により最長で12ヶ月間の給付が可能となったことで相談・申請が急増する状況が続いています。

※ 本事業と同じく生活困窮者自立支援法に位置づけられた「就労準備支援事業」「家計相談支援事業」の実施にあたり、市からの追加受託に向けた協議を進めています。両事業ともに事業規模が大きく、事業運営の体制づくり・職員の確保など、社協としても準備期間が必要となるため、追加受託は令和4年度からとし、令和3年度を準備期間とする方向で市（社会福祉課）と調整しています。

(3) 食料品寄付を活用した生活困窮者支援の取り組み

- ・きずなBOXの設置協力（NPO法人フードバンク茨城と連携した自主活動）

令和2年4月～3年1月 99.9 kg分の食料品（乾麺、レトルト品、缶詰、調味料等）を受領
令和3年1月末時点で 77.6 kg分を活用（本会緊急生活支援事業、市内福祉施設等）

・市民との協働による地域生活支援のしくみづくり

1. ボランティア・目的別コミュニティづくりの応援

(1) ボランティアセンター機能の充実強化（自主事業）

(i) 交流サロン利用、ボランティア登録

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
交流サロンの利用	0	0	83	91	69	66	86	96	72	19	582	1,397
ボランティア登録	1,301	59	19	3	25	1	1	1	7	0	1,417	1,996
ボランティア保険加入	801	47	19	3	16	1	1	1	1	0	890	1,374

※令和2年3月30日(月)から5月24日(日)の間、及び令和3年1月18日(月)から2月7日(日)の間は、保健・福祉会館の貸館業務が休止されたため、交流サロン利用も休止としました。

(ii) ボランティア相談の内訳

※前年度：前年4月～1月

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
1 ボランティア活動	3	5	8	6	5	4	3	2	3	4	43	91
2 ボランティア依頼	1	4	1	2	2	5	4		3	1	23	132
3 ボランティア保険								2			2	15
4 交流サロン										2	2	3
5 福祉活動基金等助成	1			1							2	7
6 善意銀行	4	7	8	13	6	9	3	13	12	30	105	101
7 災害時対応			1								1	13
8 広報啓発		1		4	3	1		2	6	1	18	16
9 ボランティア講座・交流			1				1	1	1		4	19
10 ういらかみす	26	10	55	38	37	28	36	39	19	26	314	391
11 ファミリーサポートセンター	51	23	55	54	74	86	70	75	61	63	612	1,139
12 地区別・目的別サロン	1		5	2	2	1	6	1	1	1	20	16
13 福祉団体			1	1	3	4	1	2	2	1	15	7
その他					1						1	0
計	87	50	135	121	133	138	124	137	108	129	1,162	1,950
(前年度)	199	194	180	188	143	214	206	227	201	198	1,950	

※I-1-(1)-(i)より再掲（内訳表示）

(2) 目的別コミュニティづくりの側面的支援（自主事業）

- ・高齢者サロン数（R03.01.31時点） 14ヶ所（前年同時期 14ヶ所）
- ・子育てサロン数（R03.01.31時点） 2ヶ所（前年同時期 2ヶ所）
- ・当事者グループ数（R03.01.31時点） 3団体（前年同時期 3団体）

※ほとんどのサロン、グループは令和2年3月以降、集まっの活動を休止しています。

・一人暮らし高齢者交流事業

当初計画では6月下旬の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込が立っていない状況をふまえ、今年度の開催は中止としました。

※前年度：3回開催（神栖地区、波崎東部西部地区、矢田部・若松地区）。参加者124名。

2. 市民活動による助け合い・災害時支援活動の推進

(1) 住民参加により福祉課題を直接解決するための基盤強化

(i) 住民参加型在宅福祉サービス「ういるかみす」の運営（平成8年度自主事業開始。

ういるかみす会員利用料等を使用)

3年1月末時点 利用会員 33名

協力会員 23名

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
利用件数(5月は休止)	10	0	36	32	40	35	50	40	30	28	301	478
利用時間(1時間700円)	13.0	0.0	60.0	46.0	64.5	55.0	81.5	67.0	47.5	37.5	472.0	701.0

(ii) ファミリーサポートセンターの運営（平成18年度神栖市受託事業。受託金額 4,416,000円）

3年1月末時点 利用会員 861名

子育てサポーター 117名

※前年度：前年4月～1月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	前年度
利用件数	16	10	61	70	69	68	96	95	84	62	631	1,351
利用時間(1時間650円)	29.5	20.5	76.0	87.5	111.0	96.5	134.0	133.5	133.0	90.0	911.5	2522.5

(iii) 各種講座の開催を通じた新たな人材の開拓（自主事業。茨城県ボランティア基金助成金を活用）

・3年1月末時点で未開催。新型コロナウイルス感染症の収束に合わせ来年度以降開催を検討します。

(2) 災害ボランティア受け入れ体制の整備（自主活動）

・茨城県社会福祉協議会主催「新型コロナ感染防止下における災害ボランティアセンターの設置・運営の考え方の検討について」（6月。オンライン会議。県内で感染者が多く確認された市の社協として参加要請）

・いばらき自民党政務調査会主催「第3回災害ボランティア活動の促進に関する勉強会」

（7月。茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会の代表として出席）

(3) 市民活動を応援するための助成（平成4年度自主事業開始。

福祉活動基金助成事業、茨城県ボランティア基金助成事業）

・ボランティアグループ助成（1グループ5万円を限度）

2団体が申請（申請通り決定）

・ボランティア協力校助成（1校5万円を限度）

17校が申請（申請通り決定）

(4) 神栖市社協会長顕彰の実施（平成20年度自主事業開始）

・民生委員児童委員1名、社会福祉団体又は社会福祉施設の役員8名、社会福祉施設職員21名、ボランティア3団体を表彰

・表彰式は福祉感謝会（例年2月中旬開催）での実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込が立っていない状況をふまえ、従来の開催形式にかえて、受賞者の皆様へ表彰状をお届けする形で実施しました。

3. 福祉教育支援活動の充実

(1) 小中学校への福祉教育支援活動の推（平成5年度自主事業開始。共同募金助成金を活用）

・令和2年3月以降、学校を訪問する「福祉教育出前講座」は休止しており、現在、各学校には本会保有の書籍、ビデオ教材を活用いただけるようご案内を継続中です。

(2) 高校生の進路アシストカレッジの開（平成24年度自主事業開始。事業費の一部に

共同募金助成金、茨城県ボランティア基金助成金を活用)

- ・ 7月下旬から8月上旬にかけての開催を計画していましたが、学校の休業期間変更や施設等での感染症拡大防止措置に伴い、開催日程の調整及び実習先の確保が困難な状況をふまえ、今年度の開催は中止としました。

事業推進のための組織体制の発展・強化

1. 理解者を増やす広報 (自主事業)

- (1) 広報紙「かみす社協ニュース」の発行 (毎月1日新聞折込 23,800部)
 - ・ 計画通りの号数を発行。生活福祉資金特例貸付等、新型コロナ関連の情報を中心に掲載しました。
- (2) 広報紙「ボランティアセンターマガジン」の発行 (偶数月15日新聞折込 23,800部)
 - ・ 6月以降、単独での発行を見合わせ、必要な情報は「かみす社協ニュース」へ掲載しています。
- (3) 神栖市社会福祉協議会ホームページの運営 (4月～1月)
 - ・ 掲載数 237件 (前年同時期 297件) ・ アクセス数 20,449件 (前年同時期 17,215件)
- (4) 神栖市社会福祉協議会リーフレットの発行 (令和2年4月12日新聞折込 ほか)
- (5) 福祉サービス一覧ポスターの掲示 (市内493箇所へ配布)

2. 会員会費・寄付金の充実

- (1) 社協会員加入状況 (1月末時点)
 - ・ 一般会費 (1,000円～) 84地区。加入総額 10,565,500円 (前年同時期 85地区。10,822,000円)
 - ・ 特別会費 (2,000円～) 18件。加入総額 73,000円 (前年同時期 14件。46,000円)
 - ・ 法人会費 (20,000円～) 141法人。加入総額 3,300,000円 (前年同時期136法人。3,200,000円)
 - ・ 団体会費 (3,000円～) 8団体。加入総額 36,000円 (前年同時期 7団体。26,000円)
- (2) 寄付金収入の状況 (1月末時点)
 - ・ 一般寄付金収入 1,706,890円 (前年同時期 1,713,425円)
 - ・ 指定寄付金収入 216,895円 (前年同時期 295,599円)

法人運営

1. 会議等の開催 (1月末までの開催等の状況)

開催日(※)	会議名・内容	出席者
令和2年 5月28日	監事による監査 (監事の現員数2名) ・ 令和元年度業務執行状況及び財産の状況に関する監査	監事 2名 理事 1名
6月4日 (※)	第1回理事会 (理事の現員数18名。書面同意により決議の省略) ・ 補欠評議員の選任候補者推薦(みなし決議) ・ 令和元年度神栖市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認(みなし決議) ・ 令和2年度定時評議員会の招集(みなし決議) (決議があったものとみなされた日: 6月11日)	(同意書受領) 理事 18名 (確認書受領) 監事 2名

開催日(※)	会議名・内容	出席者
6月11日 (※)	評議員選任委員会(委員現員数5名。書面審査) ・補欠評議員の選任(3名選任) (書面受領完了:6月11日)	(書面受領) 委員 5名
6月11日 (※)	定時評議員会(評議員の現員数40名。書面同意により決議の省略) ・補欠役員の選任(理事2名選任。みなし決議) ・令和元年度神栖市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認(みなし決議) (決議があったものとみなされた日:6月26日)	(同意書受領) 評議員40名
6月19日 (※)	第1回福祉活動基金管理運営委員会(委員現員数7名。書面審査) ・令和元年度助成実績報告 ・令和2年度ボランティア協力校助成審査(第1次応募14校) ・令和2年度福祉活動基金の運用基準(案)について (書面受領完了:6月25日)	(書面受領) 委員 7名
7月29日 (※)	第2回福祉活動基金管理運営委員会(委員現員数7名。書面審査) ・令和2年度ボランティアグループ助成審査(2団体) ・令和2年度ボランティア協力校助成審査(第2次応募3校) (書面受領完了:8月6日)	(書面受領) 委員 7名
8月4日	第1回福祉後見サポートセンターかみす運営委員会(委員現員数6名) ・正副委員長の選出(委員の互選) ・福祉後見サポートセンターかみす運営現状について ・法人後見受任審査について(1件候補者受任決定)	委員 5名
9月29日	第2回理事会 ・令和2年度(4~7月)事業実施状況及び予算執行状況について(報告済) ・経理規程の一部改正(案)(決議) ・令和2年度社会福祉事業区分収支補正予算(案)(決議) ・令和2年度第2回評議員会の招集(決議)	理事 16名 監事 2名
10月15日 (※)	第2回評議員会(評議員の現員数40名。書面同意により決議の省略) ・補欠役員の選任(理事1名選任。みなし決議) ・令和2年度社会福祉事業区分収支補正予算(案)(みなし決議) (決議があったものとみなされた日:10月30日)	(同意書受領) 評議員40名
令和3年 1月7日 (※)	第3回理事会(理事の現員数18名。書面同意により決議の省略) ・令和2年度(4~11月)事業実施状況及び予算執行状況について ・令和2年度第2回評議員会の招集(みなし決議) (決議があったものとみなされた日:1月22日)	(同意書受領) 理事 18名 (確認書受領) 監事 2名

※書面審査とした会議は「提案日」を開催日欄に記載しています。

2. 事務局職員の人事

(1) 新規採用

- ・募集職種 社会福祉協議会の事務・事業を担う一般事務職員(令和2年9月1日採用予定)
- ・採用方法 大卒者を対象に公募し、試験選考による採用(募集人員:1名程度。応募者1名)
- ・試験実施 6月28日(日) 一次試験(教養試験、論文試験、性格特性検査)
- ・試験結果 受験者欠席で中止
- ・再募集 同職種で再募集を実施(令和3年4月1日採用予定。募集人員1名程度。応募者4名)
- ・試験実施 11月15日(日) 一次試験(教養試験、論文試験、性格特性検査) ※書類選考後
12月6日(日) 二次試験(面接試験)
- ・試験結果 3名が一次試験合格。うち辞退者1名を除く2名が二次試験を受験。採点の結果、合格基準に達した者がいなかったため採用に至らず。
- ・再募集 引き続き新規採用に向け準備中(2月実施。令和3年4月1日付採用予定)

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会 令和2年度収支状況

自：令和2年4月1日 至：令和3年1月31日

事業区分・拠点区分(サービス区分)	2年度予算 現在額	収 支 状 況			備考
		収 入	支 出	翌月繰越	
社会福祉事業区分	200,127,000	187,921,915	153,384,987	34,536,928	
社協自主事業	130,520,000	122,318,851	100,409,125	21,909,726	
地域福祉推進事業	117,074,000	110,084,766	90,206,794	19,877,972	
精神保健福祉支援事業	4,943,000	4,781,856	3,835,611	946,245	
成年後見制度に関する事業	8,503,000	7,452,229	6,366,720	1,085,509	
受託事業	40,277,000	41,190,116	30,905,729	10,284,387	
日常生活自立支援事業	2,439,000	2,335,395	1,125,023	1,210,372	
精神障害者デイケア事業	3,288,000	3,200,000	1,730,991	1,469,009	
ファミリーサポートセンター	4,416,000	4,416,000	3,627,177	788,823	
障害者相談支援事業	6,255,000	6,193,600	4,963,382	1,230,218	
生活困窮者自立支援事業	15,711,000	15,710,121	11,919,497	3,790,624	※
生活福祉資金に関する事業	8,168,000	9,335,000	7,539,659	1,795,341	※
障害者計画相談事業	1,932,000	1,351,000	1,041,133	309,867	
基金積立事業	17,432,000	17,061,547	16,373,000	688,547	
職員退職手当積立事業	9,966,000	6,000,401	4,656,000	1,344,401	
公益事業区分	35,916,000	35,615,768	27,935,624	7,680,144	
広告・自動販売機設置事業	597,000	297,768	0	297,768	
労働者派遣事業	35,319,000	35,318,000	27,935,624	7,382,376	
法人全体	236,043,000	223,537,683	181,320,611	42,217,072	

※「生活困窮者自立支援事業サービス区分」及び「生活福祉資金に関する事業サービス区分」は令和2年度補正予算（第一次。令和2年10月）を反映させています。

資金収支計算書

自 令和2年04月01日 至 令和03年01月31日

法人名：社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会

事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 > 会費収入	13,950,000	13,975,500	△ 25,500	
寄附金収入	2,000,000	1,923,785	76,215	
経常経費補助金収入	92,769,000	88,152,269	4,616,731	
受託金収入	40,317,000	41,334,360	△ 1,017,360	
事業収入	39,347,000	37,396,648	1,950,352	
障害福祉サービス等事業収入	1,932,000	1,351,000	581,000	
受取利息配当金収入	46,000	38,693	7,307	
その他の収入	1,054,000	750,878	303,122	
事業活動収入計(1)	191,415,000	184,923,133	6,491,867	執行率 97%
< 支出 > 人件費支出	164,797,000	133,779,771	31,017,229	
事業費支出	13,667,000	8,125,768	5,541,232	
事務費支出	22,022,000	16,596,846	5,425,154	
共同募金配分金事業費	201,000	18,200	182,800	
助成金支出	2,680,000	1,307,800	1,372,200	
事業活動支出計(2)	203,367,000	159,840,611	43,526,389	執行率 79%
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 11,952,000	25,082,522	△ 37,034,522	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 > 固定資産売却収入	0	11,000	△ 11,000	
施設整備等収入計(4)	0	11,000	△ 11,000	
< 支出 > 固定資産取得支出	783,000	0	783,000	
施設整備等支出計(5)	783,000	0	783,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 783,000	11,000	△ 794,000	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 > 基金積立資産取崩収入	17,000,000	17,000,000	0	
積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	
事業区分間繰入金収入	3,009,000	1,120,000	1,889,000	
拠点区分間繰入金収入	23,117,000	20,360,000	2,757,000	
その他の活動収入計(7)	43,127,000	38,480,000	4,647,000	
< 支出 > 積立資産積立支出	3,400,000	0	3,400,000	
事業区分間繰入金支出	3,009,000	1,120,000	1,889,000	
拠点区分間繰入金支出	23,117,000	20,360,000	2,757,000	
その他の活動支出計(8)	29,526,000	21,480,000	8,046,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	13,601,000	17,000,000	△ 3,399,000	
予備費支出(10)	2,367,000	0	2,367,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,501,000	42,093,522	△ 43,594,522	
前期末支払資金残高(12)	1,501,000	123,550	1,377,450	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	42,217,072	△ 42,217,072	

議案第1号 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について

<提案理由>

現委員の任期（4年間）が、令和3年3月28日をもって満了となりましたので、定款第9条第3項に基づき、理事会において新たに委員を選出するものです。

ご審議の上、決議願います。

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

令和3年3月29日 決議

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
令和3年度 第4回 理事会

評議員選任・解任委員（案）

No.	委員の構成	現在の委員	新委員（案）	所属・役職等
1	監事	中山 照明	中山 照明	本会監事
2	〃	徳永 正克	徳永 正克	本会監事
3	外部委員	人見 隆	人見 隆	本会役員経験者
4	〃	高安 俊昭	高安 俊昭	本会役員経験者
5	事務局職員	橘田 勝	橘田 勝	本会事務局長

※任期：令和3年3月29日～令和7年3月28日

議案第2号 令和2年度社会福祉事業区分補正予算(案)について

<提案理由>

新型コロナウイルス感染症の関連で相談対応件数が急増している、生活福祉資金貸付事務（特例貸付関係。茨城県社協受託）について、10月の第1次補正予算に引き続き、予算の増額補正を行うため、別添の通り令和2年度社会福祉事業区分第2次収支補正予算(案)を編成いたしました。

予算を増額する理由は、生活福祉資金特例貸付の申請受付期限が「令和2年9月末」から「令和3年3月末」まで延長されたことによるものです。茨城県社協からの委託料増額措置（基本額500,000円+受付件数×5,000円）に合わせ、本会では年間受付見込件数を再計算し、今回8,295,000円の増額を計上しました。なお、予算の増額分は、職員の時間外手当、相談対応時の感染予防対策費、広報費などに使用する予定です。

なお、本委託金については渡しきり（精算不要）とされたことと、特例貸付は4月以降も延長される事が決定し次年度も相当の経費が見込まれることから、一定額を次年度へ繰り越す計画を立て、次年度繰越金（当期末支払資金残高）を350万円計上しました。

また、生活福祉資金に関する事業と合わせ、生活困窮世帯を対象とした本会自主事業である「緊急生活支援事業」についても今年度は例年以上の対応が発生し、事業費の執行が当初予算を大きく上回る状況にあるため、予備費からの充当等により600,000円の増額を計上しました。

審議の上、決議願います。

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

令和3年3月29日 決議

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
令和3年度 第4回 理事会

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会 令和2年度第2次収支補正予算書（案）

事業区分・拠点区分別 資金収支補正予算総括表

（単位：円）

事業区分・拠点区分	当初予算	第一次補正 (10月)	今回補正額 (案)	補正後予算額	備考
社会福祉事業区分	188,953,000	11,174,000	8,495,000	208,622,000	
社協自主事業	130,688,000	168,000	200,000	130,720,000	
地域福祉推進事業(法人本部)	117,242,000	168,000	200,000	117,274,000	
精神保健福祉支援事業	4,943,000			4,943,000	
成年後見制度に関する事業	8,503,000			8,503,000	
受託事業	28,935,000	11,342,000	8,295,000	48,572,000	
日常生活自立支援事業	2,439,000			2,439,000	
精神障害者デイケア事業	3,288,000			3,288,000	
ファミリーサポートセンター事業	4,416,000			4,416,000	
障害者相談支援事業	6,255,000			6,255,000	
生活困窮者自立支援事業	12,537,000	3,174,000	0	15,711,000	
生活福祉資金に関する事業	0	8,168,000	8,295,000	16,463,000	
障害者計画相談事業	1,932,000			1,932,000	
基金積立事業	17,432,000			17,432,000	
職員退職手当積立事業	9,966,000			9,966,000	
公益事業区分	35,916,000	0	0	35,916,000	
広告・自動販売機設置事業	597,000			597,000	
労働者派遣事業	35,319,000			35,319,000	
法人全体	224,869,000	11,174,000	8,495,000	244,538,000	

勘定科目別 資金収支補正予算明細書 (第2次。案。社会福祉事業区分)

(単位：円)

勘定科目	当初予算額	第一次補正 (10月)	今回補正額 (案)	補正額内訳		補正後予算額	備考(今回補正の理由)
				地域福祉推進 事業	生活福祉資金 に関する事業		
< 事業活動による収支 >							
< 収入 >							
会費収入	13,950,000	0	0	0	0	13,950,000	
寄附金収入	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	
経常経費補助金収入	92,769,000	0	0	0	0	92,769,000	
受託金収入	29,143,000	11,174,000	8,295,000	0	8,295,000	48,612,000	
市受託金収入	26,778,000	3,174,000				29,952,000	
精神障害者デイケア受託金収入	3,200,000					3,200,000	
ファミリーサポートセンター受託金収入	4,416,000					4,416,000	
障害程度区分認定調査受託金収入	255,000					255,000	
障害者相談支援事業受託金収入	6,000,000					6,000,000	
生活困窮者自立支援事業受託金収入	12,537,000	3,174,000				15,711,000	
成年後見制度法人後見支援業務受託金	370,000					370,000	
県社協受託金収入	2,365,000	8,000,000	8,295,000		8,295,000	18,660,000	
生活福祉資金事務受託金収入	168,000	8,000,000	8,295,000		8,295,000	16,463,000	受付期間延長及び件数増
日常生活自立支援事業受託金収入	2,197,000					2,197,000	
事業収入	3,433,000	0	0	0	0	3,433,000	
障害福祉サービス等事業収入	1,932,000	0	0	0	0	1,932,000	
受取利息配当金収入	46,000	0	0	0	0	46,000	
その他の収入	1,054,000	0	200,000	200,000	0	1,254,000	
受入研修費収入	100,000					100,000	
雑収入	954,000	0	200,000	200,000		1,154,000	緊急生活支援事業返金
事業活動収入計(1)	144,327,000	11,174,000	8,495,000	200,000	8,295,000	163,996,000	
< 支出 >							
人件費支出	129,549,000	4,389,000	500,000	0	500,000	134,438,000	
役員報酬支出	3,425,000					3,425,000	
職員給料支出	71,337,000	3,878,000	264,000		264,000	75,479,000	時間外手当予算を増額
職員賞与支出	24,262,000					24,262,000	
非常勤職員給与支出	8,480,000		232,000		232,000	8,712,000	他業務と兼務(窓口対応等)
退職給付支出	6,389,000					6,389,000	
法定福利費支出	15,656,000	511,000	4,000		4,000	16,171,000	社会保険料増

(単位：円)

勘定科目	当初予算額	第一次補正 (10月)	今回補正額 (案)	補正額内訳		補正後予算額	備考(今回補正の理由)
				地域福祉推進 事業	生活福祉資金 に関する事業		
事業費支出	13,555,000	95,000	2,252,000	600,000	1,652,000	15,902,000	
諸謝金支出	479,000					479,000	
保健衛生費支出	14,000	95,000	95,000		95,000	204,000	消毒液、マスク等を通年で購入
教養娯楽費支出	627,000					627,000	
会議費支出	261,000					261,000	
業務委託費支出	123,000					123,000	
広報費支出	5,241,000		1,223,000		1,223,000	6,464,000	広報紙掲載、ホームページ刷新
消耗器具備品費支出	133,000		334,000		334,000	467,000	感染対策用備品を通年で購入
印刷製本費支出	1,142,000					1,142,000	
保険料支出	711,000					711,000	
賃借料支出	1,144,000					1,144,000	
車輛費支出	1,392,000					1,392,000	
指定預託事業費支出	400,000					400,000	
緊急対策費支出	777,000		600,000	600,000		1,377,000	対応件数増に伴う増額
ういらかみす支出	1,063,000	0				1,063,000	
雑支出	48,000					48,000	
事務費支出	13,237,000	6,858,000	2,162,000	0	2,162,000	22,257,000	
福利厚生費支出	678,000					678,000	
旅費交通費支出	250,000					250,000	
研修研究費支出	490,000					490,000	
事務消耗品費支出	1,811,000	264,000	183,000		183,000	2,258,000	感染対策用物品を通年で購入
印刷製本費支出	549,000					549,000	
修繕費支出	130,000					130,000	
通信運搬費支出	1,611,000	263,000	457,000		457,000	2,331,000	件数増に伴う郵送代の増額
会議費支出	478,000					478,000	
業務委託費支出	1,481,000	5,248,000				6,729,000	
手数料支出	37,000	40,000				77,000	
賃借料支出	2,402,000					2,402,000	
渉外費支出	80,000					80,000	
諸会費支出	243,000					243,000	
資料図書費支出	253,000	5,000				258,000	
租税公課支出	657,000	152,000				809,000	
保守料支出	1,778,000	886,000	1,522,000		1,522,000	4,186,000	件数増に伴うコピー代増額

(単位：円)

勘定科目	当初予算額	第一次補正 (10月)	今回補正額 (案)	補正額内訳		補正後予算額	備考(今回補正の理由)
				地域福祉推進 事業	生活福祉資金 に関する事業		
雑支出	309,000					309,000	
受託事業等支出	168,000	168,000	0	0	0	0	
県社協受託事業費	168,000	168,000				0	
生活福祉資金事務受託事業費	168,000	168,000				0	
共同募金配分金事業費	201,000	0	0	0	0	201,000	
助成金支出	2,680,000	0	0	0	0	2,680,000	
事業活動支出計(2)	159,390,000	11,174,000	4,914,000	600,000	4,314,000	175,478,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	15,063,000	0	3,581,000	400,000	3,981,000	11,482,000	
< 施設整備等による収支 >							
< 収入 >							
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	
< 支出 >							
固定資産取得支出	783,000	0	0	0	0	783,000	
施設整備等支出計(5)	783,000	0	0	0	0	783,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	783,000	0	0	0	0	783,000	
< その他の活動による収支 >							
< 収入 >							
基金積立資産取崩収入	17,000,000	0	0	0	0	17,000,000	
積立資産取崩収入	1,000	0	0	0	0	1,000	
事業区分間繰入金収入	3,008,000	0	0	0	0	3,008,000	
拠点区分間繰入金収入	23,117,000	0	0	0	0	23,117,000	
その他の活動収入計(7)	43,126,000	0	0	0	0	43,126,000	
< 支出 >							
積立資産支出	3,400,000	0	0	0	0	3,400,000	
事業区分間繰入金支出	1,000	0	0	0	0	1,000	
拠点区分間繰入金支出	23,117,000	0	0	0	0	23,117,000	
その他の活動支出計(8)	26,518,000	0	0	0	0	26,518,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	16,608,000	0	0	0	0	16,608,000	
予備費支出(10)	2,262,000		81,000	400,000	481,000	2,343,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	2,000,000	
前期末支払資金残高(12)	1,500,000					1,500,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	3,500,000	0	3,500,000	3,500,000	次年度(令和3年度)へ繰越予定
予算総額	188,953,000	11,174,000	8,495,000	200,000	8,295,000	208,622,000	

議案第3号 社協の保険「役員等賠償補償」への継続加入について

<提案理由>

本会では、全ての社協業務にかかる賠償補償、損害補償、及び役職員の業務中傷害補償として、全国社会福祉協議会が保険会社（損保ジャパン株式会社）と一括で契約する、社協専用の団体契約「社協の保険」に毎年度加入しています。

平成29年度からは「社協の保険」のオプションとして新設された「役員等賠償補償（役員個人が被る損害を補償する保険。理事、監事、評議員に加え「管理職従業員(※)」まで補償対象となります）」にも加入しておりますが、会社法の一部改正に伴い、令和3年度以降の加入にあたっては理事会の決議を要することが義務づけられました。

そのため、令和3年度の保険加入に際し、引き続き「役員等賠償補償」へ加入することについて提案いたします。併せて、管理職従業員として以下の4名を選任することについて、ご審議の上議決願います。

<管理職従業員として理事会が選任する重要な職員（案）>

- 事務局長 橘田 勝（平成29年度第5回理事会で選任）
- 事務局次長 荒井 真由美
- 福祉活動推進センター長 相良 光浩
- 地域福祉総合相談センター長 鴨川 和明

※「管理職従業員」とは、理事会で選任された「重要な職員」を指し、施設長、園長やこれらに準ずる職員と規定され、本会では事務局規程第1条に定める「事務局長」「事務局次長」「センター長」が該当します。なお年間保険料は法人の年間収入額に基づき定められるため、補償対象者が増えても変わらず、全額を法人が負担します。

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

令和3年3月29日 決議

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
令和3年度 第4回 理事会

議案第4号 神栖市社会福祉協議会 令和3年度事業計画(案)について

<提案理由>

「第5次地域福祉活動計画（令和2年度～6年度）」に基づき、令和3年度本会事業計画(案)を、別添「令和3年度事業計画書及び収支予算書(案)」のとおり作成しました。

審議の上、決議願います。

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

令和3年3月29日 決議

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
令和3年度 第4回 理事会

議案第5号 令和3年度 社会福祉事業区分 収支予算(案)について

議案第6号 令和3年度 公益事業区分 収支予算(案)について

<提案理由>

令和3年度事業計画に基づき、社会福祉事業区分及び公益事業区分の令和3年度収支予算(案)を、別添「令和3年度事業計画書及び収支予算書(案)」のとおり編成しました。

なお予算編成にあたり、福祉活動基金の一部処分を行う計画としております。具体的な処分理由は以下の通りです。併せて審議の上、決議願います。

○福祉活動基金（3年度当初残高：10,900万円）の一部を処分する理由

平成30年度第3回理事会（平成31年1月15日）で、基金の保有限度額を6,000万円とし、当時の基金現在高13,600万円との差額7,600万円を、令和元年度から10年間で活用していく計画が決議されました。活用3年目となる令和3年度の活用計画は以下の通りです。

- ・市からの法人運営費助成金減額分（要望額に対し△1,485万円）に充当
- ・福祉後見サポートセンターかみす、福祉感謝会、福祉車両レンタカー利用料助成、広報活動など、自主事業の拡大・充実のための財源として活用
- ・ボランティア助成（ボランティアグループ、市内学校等）の原資として基金を活用
- ・処分予定額（当初予算案に計上）：2,100万円

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

令和3年3月29日 決議

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
令和3年度 第4回 理事会

議案第7号 令和2年度第3回評議員会の招集について

<提案理由>

本件については、定款第14条の規程に基づき、第3回理事会（令和3年1月。みなし決議）で決議いただいた後、3月30日（火）の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議の招集を見送り、定款第16条第3項にもとづくみなし決議（評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす）とすることについて同意願います。

令和2年度第3回評議員会

実施方法 みなし決議（会議を招集せず、会議資料（提案書）を全評議員へ郵送し、書面又は電磁的記録により同意の意思表示を得る）

議事案件 議案第1号 補欠役員の選任

議案第2号 令和2年度社会福祉事業区分補正予算(案)の承認

議案第3号 令和3年度神栖市社会福祉協議会事業計画(案)の承認

議案第4号 令和3年度社会福祉事業区分 収支予算(案)の承認

議案第5号 令和3年度公益事業区分 収支予算(案)の承認

招集予定 評議員40名

令和3年3月29日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

令和3年3月29日 決議

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
令和3年度 第4回 理事会